

東海道五十三次 27 番目の宿場



令和6年7月26日
袋井市長定例記者会見資料
企画部企画政策課

理工科大生が地域のリアルな課題解決に挑む実践型の「地域学」を開催 ～今年のお題は、「ふるさと納税の体験型返礼品」の提案～

◇本市と静岡理工科大学は、平成25年6月に締結した包括連携協定に基づき、若者の視点で地域の課題解決または発展を図る具体的な施策を立案・発表し、社会で活躍する人材となる基礎力を習得することを目的に、「地域学講座」を共同で実施している（平成26年度から実施しており今年度で11回目）。

◇今年度は、「新たなふるさと納税体験型返礼品の開発」をテーマに実施。学生たちは、フィールドワークやグループワークを通して、返礼品となりうる本市のコンテンツを研究し、グループごとに「新たなふるさと納税体験型返礼品」の提案発表（プレゼンテーション）を行う。

【概要】

1 日程及び会場、内容

日程	会場	内容
8月6日（火） 9:00～17:00	静岡理工科大学 201講義室	講義 ①ふるさと納税について（講師：袋井市職員） ②お茶の生産について（講師：安間製茶）
8月7日（水） 9:00～17:00	市内各施設	フィールドワーク（施設見学及び体験：予定） ①すず農園 ②エコパスタジアム ③香りの丘茶ピア（手もみ体験） ④油山寺
8月15日（木） 9:00～17:00	静岡理工科大学 201講義室	グループワーク
8月16日（金） 9:00～17:00	静岡理工科大学 201講義室	プレゼンテーション（14:30～大学教授と市職員による審査）
10月8日（火） 16:30～17:00	静岡理工科大学 201講義室	表彰式（最も優秀なグループに市長賞、次点に学長褒賞）

2 参加者 募集に応募した学生28名（4～5人×6グループ）



3 目的

- （1）社会課題の解決に向けグループの意見を集約する、プレゼンテーション資料を作成する、提案発表を行う、これら実社会で対応する場面を学生に提供することで人材育成を図る。
- （2）本講座を通して、学生に自身が生活する地域についてより深く知ってもらう。地域との交流を通して愛着をもってもらい、将来的な関係人口の増加につなげる。
- （3）袋井市は、若者の視点から本市コンテンツの魅力をもとにしたふるさと納税返礼品を提案してもらうことで今後の各種事業の参考とする。

【お問い合わせ先】

袋井市 企画政策課 社会連携係（担当：森）電話：0538-44-3158

袋井市 企画政策課 シティプロモーション室（担当：熊谷）電話：0538-44-3104

FAX：0538-44-3150 メール：kikaku@city.fukuroi.shizuoka.jp